

福島県地域活動団体 情報シート (2017年度)

設立年	1995年	7月	設立後	満22年	法人登記	2011年	8月
法人格/ふりがな	法人格名		ぱんだはうすをそだてるかい				
団体名	認定NPO法人		パンダハウスを育てる会				
代表者氏名	山本 佳子			役職	理事長		
活動拠点 所在地	郵便番号	960-8157					
	住所	福島県福島市蓬莱町8丁目15番地1					
団体TEL	024-548-3711			FAX	024-548-3711		
URL	http://pandahouse.org			メールアドレス	office@pandahouse.org		
活動エリア	県北	全県域					
活動分野(テーマ)	保健・医療・福祉の増進	子どもの健全育成	中間支援				
団体概要 (定款・会則による 団体のミッション等)	この法人は、難病と闘っている子ども及びその家族を支援するため医療施設近くに設けた滞在施設であるパンダハウスの運営を充実発展させることによって、小児医療や家庭の福祉に寄与することを目的とする。						
直近3年の主な事業 (実績)	○パンダハウスの運営管理(平成28年度利用者数385家族 延べ1983人) ○クリスマスプレゼント作成(7~12月) ○バザー開催(6回)						
今年度主な事業 (取組み)	○パンダハウスの運営管理 ○クリスマスプレゼント作成(7~12月) ○バザー開催(6回)						
役員・会員	役員	理事/監事	13/2人	正会員	55	個人49/団体6	
前年度収入(決算)	41,290 千円						
地域へのメッセージ	子どもの病気はまるで事故や災害のように思いもかけずやってきて、闘病生活への変換を余儀なくされます。入院中もうひとつのわが家としてのハウスの提供や、退院してからの日常生活の再構築のための相談事業など切れ目のない支援こそがハウスの意義と思っています。パンダハウスは福島県立医科大学附属病院で治療を受けているかたと、そのご家族ならだれでもご利用できます。						

◆いろいろお伺いしました

a. 震災から7年を過ぎ、今後への展望

方針は特に変わりません。震災の中でも「病気」は避けることができず、被災による転居などの生活上の問題を抱えた方々もいらっしやり、特別な配慮が必要だったこともありました。

b. 理事会や事務局機能、会計・監査機能の整備

ハウスの建築はご寄附と助成金で実現しましたが、相談事業の開始やこれからの維持・運営を考えると、事務局の強化と理事会の世代交代などが大きな課題です。

c. 資金集め(会費・寄付)や自主事業収入について

会費と寄附収入です。バザーなどの事業や募金箱設置などの工夫をしています。事業経費を助成金でまかなうこともあります。

d. 法人格の選択及び認定NPO法人・公益法人取得について

2013年10月認定取得、2014年4月「認定NPO法人パンダハウスを育てる会」と名称変更

e. 活動への福島の復興の影響

震災後、皆様に目を向けていただくことが多くなったり、支援の種類が増えたことで助かったことはあります。